

我孫子市消費者の会

お知らせ

2023年6月21日 第49期 No. 3-563

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

梅雨の季節ですが、今年は晴れ間が多いかな？と感じられます。皆様お元気でしょうか。

私事で大変ご心配をかけ、申し訳ありませんでした。このお知らせ5月号で、加藤さんが詳しく書いてくださいましたが、今は、自宅で何とか一人暮らしをしています。7月に八十八歳になる身体ですから、今の身体が手術のせいかな？トシのせいかな？がわかりません。今後も慈恵医大へ通うことは多くなりそうですので、皆様にご迷惑をかけることも多いかも知れません。出来ることはやって行こうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

地球はどうなる？

ここ何年も、消費生活展のテーマはSDGsです。今年度も「持続可能な社会をめざして～みんなで進めようSDGs～」。定例会で皆さんの意見を聞きながら、進めています。

皆さんもテレビ、ラジオ等で得た知識は、実践してください。ただし、そのために無理をして冷房を使わないで熱中症になっては本末転倒です。水分はこまめに取りましょう。

「原発映画会」是非ご出席を

さようなら原発我孫子の会で「原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち」

の上映会を企画しました。(チラシ配布)

7月2日(日) 14:00～

あびこ市民プラザ3階ホール

参加費 1,000円

定員 170名

申込み 和田(7183-1434) チケットは当日

お渡しします。

次回定例会

7月3日(月) 13:30～16:00

我孫子南近隣センター8階 和室

- ・8月のクリーンセンター見学について
- 8月定例会は休会です。

愛媛県の「いとまち」

会員の鈴木泰子さんが書いてくださったものを転載させていただきます。

日本で初めてのゼロ・エネルギーシティが、愛媛県西条市にできた「いとまち」だと、テレビ番組「ガイアの夜明け」で紹介されました。

半導体の部品をつくっている1企業の女性社長が実現したもので、工場、ホテル、住宅、レストランなどの複合施設の電気は、四国電力から1円たりとも買っていません。

省エネ設計の建物+大規模なソーラー発電+蓄電池で、必要な電機はすべて自分たちでまかっています。3年連続「移住したい町 全国1位」だそう。

とにかく、わがふるさと愛媛県は、もう新築の家はソーラーが当たり前というくらい普及しています。市民がどんどん自然エネルギーを取り入れています。(蓄電池は高いからまだ少ないと思いますが) 国なんかより市民の方がずっと進んでいます。ただ、一番遅れているのは都会です。

今、電気が余って太陽光発電が抑制されていますね。何がなんでも原発を生き残らせたいのは、一部の政治家と企業だけなのは、もうはっきりしています。その究極の狙いは？本当に腹が立ちますね。甲状腺ガンについても書かせてもらいます。

(鈴木泰子)

甲状腺ガンについて (鈴木泰子)

去る3月11日の松戸での「海渡雄一弁護士
の講演」と3月21日の「さようなら原発 全国
集会」に参加して、私が一番ショックを受けた
のは「福島の子どもの間で、甲状腺ガンが急
増している」と知ったことです。そのことを皆
さんに知っていただきたく、メールさせていた
だきました。

33年ほど前私は、仕事で関西電力・高浜原
発と、日本原電・東海第二原発を見学しました。
その時、「近隣住民の避難マニュアルは作ってい
ない」と聞いて、真っ先に頭に浮かんだのは、
「もし事故があつたら、近くの住民は何も知ら
ずに放射能を浴びて健康被害が出るのではない
か」ということでした。

その4年前にチェルノブイリ事故があり、大
勢の子どもたちが甲状腺ガンにかかって手術を
受けている悲惨なニュースを見ていたからです。

あの時の心配が現実になりました。今、福島
でもチェルノブイリと同じことが起きています。

小児甲状腺ガンは通常、年間、100万人に
1~2人しか発生しないまれなガンだそうです。
ところが、福島では、この12年間で、(当時1
8歳以下だった子ども38万人に対して)34
5人もの甲状腺ガンが発生しています。(202
3年3月22日時点)どう見ても異常な数です。
他の県ではどうなのでしょうか？

事故当時18歳以下だった38万人の人たち
に、事故後、2年ごとに甲状腺検査が実施され
てきました。

4巡目までは異常なしだったのに、5巡目の
検査(つまり事故から10年目)にガンが見つ
かった人もいます。チェルノブイリでも、事故
の直後ではなく、何年もたって甲状腺ガンがピ
ークに達していますが、福島でも、今がピーク
なのか、それとももっと増え続けるのでしょ
うか？

一度手術を受けたあと、再発した人も20人
以上います。

甲状腺ガンが肺に転移している女子大生もい

て、「さようなら原発集会」で、彼女のメッセー
ジが

代理人によって読み上げられました。甲状腺ガン
は予後がいいと聞いていたのですが、転移もある
のですね。

これについて、国と東電は最初から「過剰
診断だ」と言い張り、原発事故と甲状腺ガンの因
果関係を認めていません。

そのため、2022年1月に、被害者の若者た
ち(最初は2名だったと思いますが、現在は7名)
が、東京電力に対して損害賠償訴訟を起こしまし
た。これが「3.11子ども甲状腺ガン裁判」(弁
護団長・井戸謙一、副団長・河合弘之、海渡雄一)
です。

事故から10年も経ってやっと訴訟に踏み切っ
たのは、「風評加害だ」とか、「復興の足を引っ張
る」などと言われて圧力がかかっていたからだそ
うです。それでも原告に加わるのは、さぞかし勇
気がいったと思います。

●2011年3月15日~16日にかけて、大量
の放射性物質が放出されたにもかかわらず、住民
には何も知らされなかった(これは我孫子市も同
じ)。

●子どもたちに安定ヨウ素剤すら配られなかつ
た(安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素材を取り込んでか
ら2時間以内に服用すれば90%のガン抑制効果
がありますが、16時間を過ぎると効果はないそ
うです)。

●国は市民の目をくらまそうとして、3月16日
の時点で、電通を使って安全宣言をするためのア
ドバイザーを探したそうです(そういえば、
「笑っていれば放射能は逃げていく」とか、ふざ
けたことを言っていた先生がいましたね)。

海渡弁護士によると、国とは当時の民主党では
なく、闇の勢力だそうです。(原子カムラ?)。

●これほど大勢の甲状腺ガン患者が出ているのに、
国や東電は「過剰診断だ」「原発事故とは関係ない」
と責任を認めようとしない。これが現実です。

まだ一審の判決は出ていませんが、この裁判の
行方は国民の大きな注目を浴びると思います。

それは“原発事故による健康被害”を訴えた初の裁判だからです（原発事故で東電と国を訴えた大きな裁判としては「刑事裁判」と「株主訴訟」がありますが、健康被害を訴えたものはこれが初めてです）。

健康被害は身近で切実な問題です。「原発事故でおおぜいの子供たちがガンになった」となれば、その衝撃は大きく、「やっぱり原発は怖い」と原発反対の声も高まるでしょう。国や東電はそれをいちばん恐れているようです。

海渡さんは「東電は絶対因果関係を認めないだろう」と言っていました。あの手この手で「関係ない」という主張を繰り返すのでしょう。

口頭弁論もすでに何度も行なわれています（次回は6月）。

今後、医学的な論戦が繰り返られると思いますが、味方になって証言してくれる専門家はいるのか、裁判長は公正に判断してくれるのか・・・心配です。

この裁判を支援するための「3. 1 1 甲状腺ガン子ども支援ネットワーク」が去年発足しています。皆さんも興味があればネットでのぞいてみてください。私はこの裁判をずっと見て行こうと思い、先日、微力ながら「マンスリーサポーター」に加わりました。

原発反対を言うときも、「事故でおおぜいの子供たちが甲状腺ガンにかかっている」という現実には、今後、強い説得力を持つのではないのでしょうか。

以上、お知らせまで。

鈴木泰子

我孫子市男女共同社会作り講演会 2023 アンコンシャス・バイアスの棚卸し ー「私らしく」のその先へー

日時 6月24日（土）14:00～16:00

会場 あびこ市民プラザ ホール

講師 高橋 由紀さん

（あびこ市民活動ステーションマネージャー）

要申込 6月1日から先着70人

～ ～ ～ ～ ～

まだ先の話ですが、千葉県消費者団体強化・活性化事業として、“「相続」が「争族」にならないために”という講演会を我孫子で開くことになりました。講師は弁護士の紀藤正樹氏で、11月12日（日）午後、アビイホールの予定です。手帳に書き入れておいてください。

それでは皆様お元気でお過ごしください。